

「地域を元気にしたい!」「自然を大切にしたい!」方に

自然を大切に守り育て、 地域を元気にしよう!

「さまざまな立場の人たちが共創し、自然を循環的に利用し保全することで、地域を元気にする」ための仕組みを考えます。住民・NPO・行政・企業等と協力し、中山間・離島の地域づくり、森づくり、海ごみ問題への取り組み、生き物と共生する田んぼなどの事例から、自然と人間が共生する公益社会のモデルを学びましょう!

呉 尚 浩 教授

- 出張講義分野
自然と共生する地域づくり、公益とは何か?
- 研究分野のキーワード
地域づくり、自然環境保全、ボランティア
- 専門分野
環境社会学、地域づくり論

※もっと詳しく
知りたい方は



<http://naogoo.cafe.coocan.jp/diary/>



大学ではこんなことを研究しています

私の研究室では「多様な主体の共創による自然の循環的利用・保全と地域づくり」をテーマにしています。具体的には、中山間・離島地域の活性化(ビジョンづくり、防災、観光、移住定住促進、ジオパークなど)、森林保全、海ごみ問題解決への取り組み、生き物と共生する農業などのフィールドで、「公益社会のデザインと実践」に取り組み、山形から全国に発信しています。

先生からメッセージ

私は「公益は“愛”なり」、すなわち、公益とは「“他者(自然や人々)の存在”を尊重し、“他者への思いやり”と“他者とのつながり・調和”を大切にできる心、それにもとづく思考と行動である」と考えています。大学の授業では、フィールドワークを重視して、公益を求める「心」のあり方、実現するための具体的な「方法」論と「行動」力の三つをバランスよく身につける実践的な学びを展開しています。「他者が喜ぶことを、自分の幸せにつなげる」ことで、有意義な生き方をしたいと考えているみなさんを、ぜひともお待ちしております!

略歴 慶應義塾大学大学院経済学研究科博士課程後期課程単位取得退学。修士(経済学)。
2001年4月より東北公益文科大学講師。准教授を経て、2013年4月より現職。
出羽庄内公益の森づくりを考える会会長、とびしま未来協議会代表。